

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3818101	インターンシップ Internship	秦 真人 長谷川 えり子	専門	1	選択	1年 後期 集中
科目の概要						
<p>様々な職場での体験学習を通して、業界の現状と職種の内容を把握する。事前指導では、インターンシップのながれをとらえ、実習での心構えを学ぶ。また、一般的なマナーについて実践ができるように習得する。実習を通して、現場の状況を知り、自分自身の適性をはかり、進路の選択に役立てる。事後指導では、実習内容を発表し、他の職場の実状についても知り、今後の就職活動へ繋げていく。</p>						
学修内容			到達目標			
① 業界の現状と仕事内容について現場で学ぶ			① 就職先としての業界の現状を知り、仕事内容が理解できる			
② インターンシップでのマナーについて学修する			② 社会人としての挨拶、お辞儀、敬語の使い方を把握する			
③ 職場での実習で実務を経験する			③ 実習を通して、職種のあり方を知り、自分の適性をはかり、進路選択に繋げる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例				
前に踏み出す力	主体性	実習において自分の役割を積極的に果たす。				
	働きかけ力					
	実行力	実習先の目標に向かって粘り強く取り組み、目標を達成する。				
考え抜く力	課題発見力	実習内容を分析し、課題を見つけて対処する。				
	計画力					
	創造力	実習で得た知識を利用し、今後の仕事のイメージを創り出す。				
チームで働く力	発信力	実習先での自分の考えを提案する。				
	傾聴力	実習中、他人の考えをしっかりと把握する。				
	柔軟性	意見の相違があっても、柔軟に対処する。				
	状況把握力	どういう場面であるかを常に把握して対処する。				
	規律性	実習先のルールを守る。				
	ストレスコントロール力	実習で分からないことなどでピンチになっても、動揺せずに対処する。				
テキスト及び参考文献						
<p>テキストは特になし。必要に応じて、各授業時間にプリントを配布。 参考文献:なし</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連:「キャリアデザインⅠ～Ⅳ」、「ビジネス実務演習」など 資格との関連:なし</p>						
学習上の助言			受講生とのルール			
<p>日頃から新聞やTVニュースで社会のながれや経済動向を把握しよう。学外の授業であるので、実習先に迷惑がかからないように積極的に取り組み、自己の進路選択に結びつけて行動しよう。</p>			<p>日常生活において、良いコミュニケーションの取り方(話し方や態度)について考えておこう 実習中は遅刻、欠席は厳禁です。実習先へ迷惑のかからないように細心の気配りを行いましょう。 実習期間中は、実習内容を詳しくメモをとり、帰宅後実習記録にしっかりまとめよう。</p>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	20	①	✓	実習記録については、わかりやすく、丁寧にまとめる。実習内容や実習での課題についてしっかり記述してあるかを評価する。
		②		
		③	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	20	①	✓	前項に明記した社会人基礎力に関する行動事例にも基づいて学修態度を評価する。 (主体性) 実習において自分の役割を積極的に果たすことができているか。 (実行力) 実習先の目標に向かって粘り強く取り組み、目標を達成しているか。 (課題発見力) 実習内容を分析し、課題を見つけて対処しているか。 (創造力) 実習で得た知識を利用し、今後の仕事のイメージを創り出しているか。 (発信力) 実習先での自分の考えを提案することができるか。 (傾聴力) 実習中、他人の考えをしっかりと把握することができるか。 (規律性) 外部の組織・団体に迷惑をかけていないかどうかを含め、実習先のルールを守っていたかどうか評価する。
		②	✓	
		③	✓	
その他	60	①	✓	実習への取り組み(意欲、態度)について、実習先で評価していただく
		②	✓	
		③	✓	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
意欲的に実習に挑み、常に問題意識を持ちながら、自分に足りない課題を発見することができる。自分の適性を知り、就職活動におおいに繋げることができる。	実習に参加し、無事に日程を終えることができる。実習記録をまとめ、実習中の反省から、自分の課題を考えることができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	インターンシップの概要について 概要を説明し、実習に対する参加意欲を確認する。	講義と質疑応答	インターンシップの内容が理解できる	(復習)インターンシップ先を就職サイトなどで調べよう。	45	傾聴力 主体性
2週 /	事前指導① インターンシップの目的 実習のながれ 実習時の書類について	講義と演習 書類作成を含む	インターンシップの目的がわかり、実習のながれをとることができる	(復習)作成した書類を確認する	45	傾聴力 主体性
3週 /	事前指導② 実習時の服装や持ち物 実習にあたっての心構え 言葉遣いや挨拶、立ち振る舞いなど一般的なマナーについて実習	演習	実習におけるおおよその心構えができる	(復習)言葉遣い、挨拶の仕方、立ち振る舞いの練習	45	傾聴力 主体性 実行力
4週 /	事前挨拶 実習先へ事前挨拶 巡回教員へ事前挨拶	実習	実習先と巡回教員へ挨拶ができる	(予習)挨拶の練習 (復習)実習先で受けた諸注意のまとめ	45	傾聴力 主体性
5週 /	インターンシップ実習 実習先-(例) ・アパレルメーカー ・商工会議所 ・医療機関 ・一般企業 ・ブライダルメーカー ・図書館 など	実習	実習は指導者の指示に従い、社員の勤務に準じて業務を行う。毎朝、出勤簿に捺印し、出勤記録を残す。また、実習内容を詳細にメモを取り、帰宅後実習記録にまとめる。	(復習)実習した業務内容を実習記録にまとめる	450	主体性 実行力 課題発見力 働きかけ力 柔軟性
6週 /						
7週 /						
8週 /						
9週 /						
10週 /						
11週 /						
12週 /						
13週 /						
14週 /						
15週 /	まとめ 実習報告会	演習	実習内容を報告できる	(復習)反省を振り返り、今後の就職活動を検討する	45	傾聴力 主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

